

《報道関係者各位》

2018年1月5日

LIXIL住宅研究所 今社長 2018年 年頭挨拶

株式会社LIXIL住宅研究所

当社社長 今 城幸による「2018年 年頭挨拶」をお送りします。よろしくお願い致します。

記

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、心新たに新年を迎えられたことと存じます。
年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

2017年は、年初から寒波の影響により日本海側で大雪被害が発生し、東北地方では東日本大震災の余震もいまだ発生しています。また、7月以降は、九州北部豪雨などの大雨や台風による被害が相次ぐなど、多くの自然災害が発生しました。

日本経済においては、景気は緩やかに持ち直し傾向にあるとともに、個人消費も緩やかな回復基調を維持しているとの見方がされており、この動きは、引き続き2018年も続いていくと考えています。

住宅業界においては、個人消費が回復にあることと合わせて、低金利が続いていることから、2017年の住宅着工棟数は、前年と大きな変化は見られないと思われ、2018年度住宅着工棟数は、引き続き堅調に推移していくものと考えています。また、2019年10月に消費税増税が予定されていることから、2018年下期には駆け込み需要が発生すると考えています。

当社では、2015年から新築住宅を起点とした「ワンストップハウジング」戦略を掲げて取り組んでまいりました。新築事業においては、2017年に主力商品は全てZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を標準仕様とし、さらには2020年以降のZEH標準化を見据え、将来価値の高い、快適でレジリエントな住宅開発を進めてきました。また、社内組織体制を見直し、経営の効率化を図り、事業の柱となる新築事業のフランチャイズ加盟店様向けサービスの「質の向上」を図ると共に、リフォームなどの非新築住宅事業の強化に取り組みました。2019年の消費税増税、2020年の省エネ基準義務化などの課題に向け、順調に準備が進められ、取り組みの成果は着実に出てきていると考えています。さらに、ホームページの見学予約システムの強化など、来店時にお客様の意向に沿ったご対応がしやすい環境をつくり上げ、お客様サービスの質の向上を図りました。

2018年は、「ZEH」や「レジリエンス」の取り組みを基本性能として取り組むとともに、引き続き「ワンストップハウジング」の取り組み強化を進めてまいります。また、将来の成長に向けて“生涯顧客化”を念頭に、よりスピード感を持って、新築からリフォーム、転居・住み替え、相続などあらゆる住生活ニーズに対応できる商品・サービスの強化を図ることを目的に事業領域拡大を進め、引き続き、お客様に「豊かで快適な住生活をお届けする」ことを目指してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

【報道関係者のお問合せ先】

㈱LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

LIXIL住宅研究所ホームページ/TOP URL:<http://www.lixil-jk.co.jp/>